

開遥土四月
拜小月二
門殿屋日



発 行 所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

3・4月号



道

海量法師の歌をご紹介します。
す。厳しい旅の末に拝す晩春
の霊峰石鎚山の御姿。目に浮
かぶようです。暫く味わって
みてください。 武智。

石鎚山 作 海量法師

えんゆうせんり てんがいをわたる
遠遊千里天涯を渡る

なんよのさんせんこうろなめなり
南予の山川行路斜めなり

ひとりいしづちの
さんしよくをおこすあり

独り石鎚の山色を起こす有り
ぼしゅんさんがつゆきはなのごとし

暮春三月雪花の如し

千里の遠いところまで旅をし
て天涯に来た。

ここ伊予国の南予の山は切立
ち川は巡って道は斜めに続く。
その中に石鎚山だけは素晴ら
しい景色をあらわしている。

晩春の三月というのに山上に
は花が舞い散るように雪が舞
い降っているのだ。

海量法師 江戸期の僧、歌人。
彦根藩主の命を受け諸国を視
察、後、藩校を興す。

[春季例大祭・疫病鎮静祈願祭]

ご参拝には、コロナ対策の徹底を！！

自宅検温の上、境内での、マスク着用、手指消毒、
会話控え、距離確保の三密回避にご協力ください。

- ・本殿内外の三密を回避し、皆さまの健康と安全を最大限に確保しつつ、春季例大祭の御祭儀を厳修することを、第一義とします。
- ・併、疫病鎮静祈願祭を厳修します。

○コロナ禍の一日も早い鎮静化と国家安泰・世界平和、すべての命の幸福を懸命にお祈りします。皆さまもご一緒にお祈りください。

○大祭式では、団体のご代表お一人様のみ、床拝殿に昇殿戴きます。

○祭典後、恒例の「御神像拝戴神事」を斎行します。

○個々にお申し込みの「御神像拝戴」「御祈祷」は、通常通りご奉仕します。

○春季例大祭・会議 予定

4/4	10:00	役員会	実施の予定
4/4	17:00	前夜祭	斎行
4/5	10:00	春季例大祭・疫病鎮静祈願祭	斎行 下記詳細
4/6	10:00	祖霊殿春季例大祭・合祀祭	斎行
4/7	9:00	後宮祭	斎行

○4月5日 春季例大祭 予定

- ・例大祭・疫病鎮静祈願祭 大祓詞を奉唱。マスクを着用ください。
- ・ご奉仕 近隣の信徒の方にご奉仕をお願いする場合があります。
- ・神賑行事は休止 神輿渡御、御旅所祭、花神輿、樽神輿、稚児行列、餅投げ、演芸奉納、お茶席、剣道大会、直会、弁当、煙火など。
- ・預かり賽銭、初穂料 持参か郵送ください。神納後、お下がりをお送りします。
- ・御祈祷、お守り 通常です。本社窓口か郵送にて、お申し込みください。
- ・神社会館の宿泊食事 大祭期間中、休止します。他日は縮小営業します。

世情を鑑み、内容が変動する場合があります。
緊急事態宣言が発令された場合、ご参拝はお控えください。

【教師講習会並びに 石鎚流太鼓講習会】の 開催についてお知らせ

◎現在のコロナ禍を鑑み、左記の様に对应させていただきます所存でございます。

※教師講習会

令和四年三月四日(金)
～六日(日)を



令和四年八月二十六日(金)
～二十八日(日)へ変更。

※石鎚流太鼓講習会

令和四年八月二十七日(土)
～二十八日(日)を



令和四年十一月十九日(土)
～二十日(日)へ変更。

以上でございます。
宜しくお願い致します。

※奉納

「いしづち泣き相撲」
お知らせ

今般のコロナウイルス禍の現状を片男波親方と相談しており、開催は検討中となっておりま。新たに進展がございましたら当社ホームページにて皆様方にお知らせ致します。何卒宜しくお願い申し上げます。

預かり賽銭のお願い

石鎚神社・石鎚本教で行われております三つの大祭に於きまして、期間中にご参拝出来ない信徒の皆様が、ご代表様、お世話人様に代理参拝をお願いし、皆様方のお賽銭をご奉納頂く「預かり賽銭」が昔より行われております。

春季例大祭
毎年四月四日～七日
(例大祭は五日)

夏山開き大祭
毎年七月一日～十日

秋季例大祭
毎年十月四日～七日
(例大祭は五日)

各教会・遙拝所・講社のご代表様は、ご神徳発揚の為、一人でも多くの信徒皆様方へ、ご協力をお伝えして頂きたい存じます。

◎お供え頂いた「預かり賽銭」の初穂料により、大祭毎に定められた御神札をお世話人様へお預け致します、後ほどお受け取り頂き、お祀り下さいます。

※預かり賽銭の帳面は、大祭の約二ヶ月前までにはお届けいたします。

また、各教会・遙拝所・講社に所属の皆様方は、ご代表様、お世話人様にお尋ねください。お世話人様をご不明な方は、本社へご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

電話 〇八九七―五五―四〇四四

FAX 〇八九七―五五―七二四二



令和四年 皇紀二六八二年 正月 御神像拝戴者御芳名

新年を迎え、口之宮本社・

中之宮成就社の各お社では、
初詣にあわせ石鎚神社の特殊
神事であります御神像拝戴や
新春特別祈禱を受ける人々で
賑わいました。

ご参拝の皆様方それぞれに、
感染症対策を徹底しながら、
疫病の一日も早い終息と各人
の願いの成就を祈る年明けで
あったと拝察いたしました。

石鎚大神様の御神徳を十二
分に賜り、この一年が素晴ら
しい年になります様、心より
お祈り申し上げます、御神像拝戴
を受けられました方々の御芳
名を紹介いたします。

(順不同・敬称略)

中宮成就社

正月三ヶ日

御神像拝戴拝受団体芳名

一月一日

千葉県市原市

千葉石鎚修験会

海江田龍瑞(十一名)

香川県坂出市

岩中水産

岩中 高夫(十二名)

一月三日

愛媛県今治市

石鎚本教睦美教会

田窪 一善(十四名)

(以上三件)

口之宮本社

一月一日

広島県福山市御幸町

中津原遙拝所

高原 政明(三十名)

愛媛県今治市吉海町泊

睦美教会

田窪 一善(三十一名)

徳島県久米郡美咲町

森谷 正志(四名)

愛媛県西条市玉之江

丹下建設工業(株)

丹下 喜代範(十一名)

広島県尾道市向島町

西原 善久(六名)

香川県高松市鬼無町

妙伝遙拝所

築地 一書(三十八名)

愛媛県伊予郡松前町

水口 泉(十二名)

一月二日

愛媛県西条市河原津

吉田教会

越智 汀祐(五十名)

愛媛県宇和島市明倫町

原井川 豊章(二十八名)

高知県四万十市有岡

中村遙拝所

森田 茂(九名)

広島県福山市沼隈町

山南嘉和教会

岡本 嘉孝(十五名)

香川県丸亀市綾歌町

導不動院遙拝所

岩崎 光照(百二十名)

一月三日

香川県高松市三条町

高松山川組

山川 謹司(二十三名)

福岡県北九州市戸畑区

丈納建設(株)

河野 史也(四名)

一月四日

山口県大島郡周防大島町

山口大島教会

中原 輝昌(六名)

一月五日

高知県高岡郡津野町

葉山教会

岡村 信一(十二名)

岡山県浅口市鴨方町

大原 信寿(二名)

愛媛県大洲市肱川町

龍雲山肱川教会

沖野 和義(四十名)

一月六日

愛媛県西条市周布

(有)一色石材工業所

一色 章二(十名)

一月七日

香川県高松市香南町

和泉 良美(三名)

一月八日

愛媛県西予市宇和町

宇和山田講社

土居 幸雄(七十名)

一月九日

大分県大分市戸次

大分金子遙拝所

金子 良美(十七名)

大分県大分市畑中

宮部 良三(二名)

大分県別府市竹の内

大分崇敬組合

浦松 傳(四十三名)

一月二十日

愛媛県今治市郷本町

(株)シルバーケアサービス

ひまわり

富田美和子(六名)

一月二十一日

香川県さぬき市志度

野崎 慶子(三名)

一月二十三日

香川県高松市香川町

葉山 誠二(二名)

一月三十日

広島県広島市東区

勝田 吉雄(六名)

(以上、二十八件)

令和四年一月十五日

月次祭に併せ長寿祭斎行

本年令和四年に数え歳八十

歳(傘寿)を迎えられる石鎚

神社先達・石鎚本教教師・石

鎚敬神婦人会の方々の長寿を

祝う祭典を行い、該当者の皆

様のご健勝を御祈願致しまし

た。

長寿の方々には神社よりハ

ンテン、敬神婦人会より記念

風呂敷が贈呈されました。

今後、益々のご多幸とご健

康をお祈り申し上げます。

長寿者御芳名

(順不同・敬称略)

○広島県広島市

名誉部長

○広島県福山市

特別大監長

○広島県福山市

監 長

○愛媛県松山市

取 締

石川美保子

桑田 悦子

桑田幾治郎

下田登久子

○高知県高知市

取 締

○福岡県中間市

副取締

○福岡県中間市

副取締

本田 慶子

岡部 英凰

石橋 久喜

敬神婦人会

○広島県呉市

安芸支部

○高知県土佐市

和食支部

○福岡県北九州市

敬祥支部

○大分県大分市

大分石鎚支部

○大分県大分市

大分石鎚支部

○福岡県京都郡

勝山支部

河野 幸枝

横山 春恵

甲斐 勝子

渡辺 和子

児玉小夜子

浦山 陽子

令和三年度

【石鎚本教所属 教会負担金】

【石鎚本教所属 教師義務金】

【石鎚本教教会聯合会

教会負担金】

【石鎚本教教会聯合会

会員負担金】

本年度も右を半額に致します。

教会・遙拝所・個人の皆様
方へ御案内申し上げます。本年度(令和三年度分)の
当該義務金及び会費の納入額
は、コロナ禍の世情を鑑み特
別に例年の半額とさせて頂い
ております。為に教会・遙拝所の皆様方
に於かれましては、例年の義
務金合計額の奨励金はごさい
ません。ご理解・ご協力の程
よろしくお願い致します。

石鎚本教宗務局

令和四年度

石鎚神社 大麻頒布 御世話人御芳名

新しき年、神棚に奉斎する石鎚神社大麻の頒布に際し、御尽力をいただいております。御世話人の皆様に感謝を申し上げます、順不同・敬称略では御座いますが、御芳名を掲載させていただきます。

本来ですと、お世話人全員の御芳名を掲載すべきでは御座いますが、紙面の都合上、大麻五〇体以上の御世話をいただいた方々の掲載とさせていただきます。大変恐縮ながらご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

【担当 佐々木】



◎七〇〇体

高知県

葉山教会

岡村 信一

香川県

讃岐神大遙拝所

大高 久呼

◎五〇〇体

香川県

導不動院遙拝所

岩崎 光照

◎四五〇体

福岡県

福岡神和教会

佐伯 良子

◎四〇〇体

大分県

霊威教会

中西 幸男

◎三五〇体

愛媛県

睦美教会

田窪 一善

◎三〇〇体

愛媛県

龍雲山肱川教会

沖野 和義

吉田教会

越智 汀祐

福岡県

九州石鎚大権現社

須堯 宣行

◎二〇〇体以上三〇〇体未満

愛媛県

今治越智崇敬組合

小林 敏朗

神明遙拝所

大西サカエ

東雲講社

黒田 明子

広島県

赤坂教会

三山 和良

◎一五〇体以上二〇〇体未満

高知県

和食教会

安岡桂一郎

広島県

中津原遙拝所

高原 政明

山口県

鐘ヶ淵教会

山田 春治

大島教会

中原 輝昌

◎一〇〇体以上一五〇体未満

愛媛県

宇和教会

山内 康治

宮脇 櫻

香川県

矢部三恵子

野崎 勝

高知県

佐川教会

片岡 瑞恵

土佐山田遙拝所

長瀬 和夫

土佐野市遙拝所

出原 孝文

広島県

蔵王教会

深川 健二

福岡県

門司教会

加藤 保彦

大分県

大分石鎚教会

江藤 秀人

大阪府

大阪教会

湊 喜美子

愛知県

愛知遙拝所

澁谷恵美子

群馬県

宝光山関東石鎚教会

富田 直幹

◎五一体以上一〇〇体未満

愛媛県

直轄大教会

入江 伸明

西条協和教会

秋山 一幸

伊予市伊予郡遙拝所

水口 泉

山口 義隆

岡中 功

増田 光香

香川県	矢野喜美子	高知県	高知県	土佐嶺北教会	永野 武夫
讃岐石鎚遙拝所	豊田 綾香	岡山県	岡山県	岡豊山教会	筒井 道晴
徳島県	高木 康二	徳島県	徳島県	平岡 明	
脇町遙拝所	藤本 敏男	岡山県	岡山県	倉敷中央遙拝所	平松 史朗
高知県	中澤 幸孝	大谷山講社	大谷山講社	柳本 正勝	
足摺岬教会	門屋 勇市	広島県	広島県	初谷 忠彦	
春野昇栄遙拝所		広島西教会	広島西教会	箱崎 信雄	
岡山県	中臣 齋	因島七洋遙拝所	因島七洋遙拝所	矢島 峰男	
神心の会		山口県	山口県	杉原 則秀	
広島県	三吉 真司	防府教会	防府教会	山中 将史	
神田山教会	田頭 規生	福岡県	福岡県	橋本 賢治	
備後南教会	松本 光子	徳波教会	徳波教会	越智 節子	
神畑遙拝所	石崎 昌司	敬祥教会	敬祥教会	勝本 房利	
大分県		大分市教会	大分市教会	長澤 講三	
別府神仰会遙拝所		戸次遙拝所	戸次遙拝所	足立 信昭	
大分千歳遙拝所	浦松 大八	金子遙拝所	金子遙拝所	金子 良美	
豊の国石鎚講社	阿南 廣美	大阪府	大阪府	西川 薫	
姫野 昌訓	二宮 清三	瑞明遙拝所	瑞明遙拝所	百人以上の皆様	
愛媛県		◎五〇体未満	◎五〇体未満	順不同・敬称略	
瀬戸遙拝所	水野 亀市			(二月三十一日現在)	
千早遙拝所	麦田 和徳				
	神野 武夫				
	永井 久				
	重見 幸男				
	坪内 義和				

福岡崇敬組合 役員改選

令和四年一月二十三日に小倉リーセントホテルにて石鎚神社福岡崇敬組合の役員選考委員会が開催され、令和四年二月一日付で辞令が発令されましたのでお名前を掲載いたします。

常日頃より石鎚大神の御神威の高揚と教勢の拡充に奔走されることに感謝しますと共に福岡崇敬組合の皆様への御礼を祈念しつつ報告とさせていただきます。

梶原 倫子 組合長



組合長 梶原 倫子
元老 門司教会副教会長
副組合長 濱本 文雄
元老大顧問 真宝教会教会長

副組合長 選定中

會計 楠之木 桂子

元老大顧問 門司教会

監査 江里口真由美

取締 小倉教会

監査・理事 加藤 保彦

元老大顧問 門司教会教会長

理事 佐伯 良子

金務 福岡神和教会教会長

理事 越智 節子

元老大顧問 穂波教会教会長

理事 榎並 好美

元老大顧問 田川教会教会長

理事 川津 守秀

元老大顧問 香春教会教会長

理事 江里口 忠士

取締 小倉教会

理事 楠之木 龍治

元老大顧問 門司教会

理事 日高 智美

元老大顧問 肥国合神遙拝所長

(順不同・敬称略)

記 権瀬宜 勝本

二月一日 月次祭に併せ年賀厄除祭齋行

去る二月一日の月次祭に併せ恒例の年賀厄除祭をご齋行いたしました。

年賀厄除祭は、石鎚本教の教会聯合会々員（本教評議員並びに教会長及び教正級以上の教師）にご在籍方で、本年の年賀に該当される方々にご案内をいたしております。

本年は三十名の該当の皆様方の、無病息災をご祈念申し上げます。

節目を迎えられました皆様方の、益々のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。此処に、謹んで該当の皆様方を掲載し、ご報告致します。

*教会長であり教正級の方は教師階級を優先して掲載しております。

年賀該当者

御芳名

(順不同・敬称略)

◎傘 寿(八十歳)

岡山県倉敷市 中教正 川ノ上勝利

◎喜 寿(七十七歳)

大分県大分市 大教正 中西 幸男
岡山県笠岡市 中教正 城戸留里子

大分県大分市 権中教正 足立 信昭

愛媛県松山市 少教正 西原 和男

北海道札幌市 少教正 山本 時雄

広島県呉市 権少教正 石崎 昌司

香川県高松市 権少教正 垂水 雅子

広島県福山市 教会長 高原 政明

愛媛県西条市 名誉顧問 吉田 宏

◎古 稀(七十歳)

岡山県笠岡市 権大教正 森 文成

愛媛県西条市 中教正 湊 照彦

愛媛県東温市 権中教正 黒田 明子

高知県高岡郡 少教正 岡村加代子

広島県呉市 少教正 今木 嘉子

福岡県田川市 権少教正 川津 守秀

岡山県倉敷市 権少教正 川ノ上町子

高知県四万十市 教会長 乾 覚見

高知県宿毛市 権少教正 安楽 裕一

香川県さぬき市 権少教正 飛開原慶子

◎還 暦(六十一歳)

愛媛県西条市 宮司・管長 武智 正人

愛媛県西条市 氏子総代 高橋 亨

大阪府岸和田市 権少教正 西川 薫

令和四年度 星祭祈願お世話人御芳名

(順不同・敬称略)

先般、二月三日の節分の日に
星祭祈願は満願いたしました。

全国から約六万二千名の方々
のお申し込みをいただきました。
ご尽力いただきましたお世話
話人の皆様のご苦勞に対しま
して厚く御礼申し上げます。

ここにお世話話人の皆様の御
芳名を掲載させていただきます
すが、紙面の都合上五十名以上
のお世話話をいただいた方々の
御芳名となっております。

コロナ禍の続く中、大難は小
難に小難は無難にと、此の一年
を息災に過ごされますことを
心よりお祈り致します。

【愛媛県】

◎一、二〇〇体以上

睦美教会・・・田窪 一善

◎九〇〇体以上

豊田 綾香

◎八〇〇体以上

中予教会・・・黒田 明子

◎四五〇体以上

吉田教会・・・越智 汀祐

神明遙拝所・・・大西サカエ

水口 泉 一色 章二

◎三五〇体以上

藤田喜代美

◎二五〇体以上

梅原 康孝 上甲 公子

◎二〇〇体以上

徳田 光子 矢部三恵子

◎一五〇体以上

伊台石鎚遙拝所・神野 武夫

三崎遙拝所・・・今川 克英

重見 幸男 小林 興藏

小林 敏朗 渡邊 和幸

渡辺 雅子

◎一〇〇体以上

宇和教会・・・山内 康治

赤松会・・・岡中 功

荒瀬 勝子 坪内 義和

◎五〇〇体以上

神愛教会・・・柳川 典子

上浮穴郡教会・・・坪内 統

松岡 功 山口 義隆

難波江辰一 西岡 秀明

十亀 直彦 稲葉 恭治

芝 弘明 宮脇 櫻

大森真由美 宮内 勝美

越智 光江 鈴木サナエ

叶 一美 山崎 香

渡邊 陽子 矢野 孝明

松本 幸子 藤田 春枝

小椋美枝子 大西彌太郎

尾田チエ子 佐々木規人

山本眞理子

【香川県】

◎三、〇〇〇体以上

讃岐神大遙拝所・大高 久呼

◎四〇〇体以上

柏原 宏康

◎一五〇体以上

琴平教会・・・石崎 洋一

◎一〇〇体以上

下八川 忠 落合美代子

◎五〇〇体以上

善通寺教会・・・小谷美恵子

讃岐石鎚遙拝所・皆川 鈴子

森 晃一 久保田美佐

【徳島県】

◎一〇〇体以上

湊 依子 金平 敏孝

◎五〇〇体以上

脇町遙拝所・・・藤本 敏男

【高知県】

◎一、二〇〇体以上

佐川教会・・・片岡 瑞恵

◎一、一〇〇体以上

和食教会・・・安岡桂一郎

◎七〇〇体以上

藤村 英子

◎三五〇体以上

中澤 幸孝

◎三〇〇体以上

中村遙拝所・・・森田 茂

◎二〇〇体以上

土佐野市遙拝所・出原 孝文

土州柏木講社・山脇 裕仁

◎一五〇体以上

切詰 皓喜 若枝 宏造

◎一〇〇体以上

葉山教会・・・岡村 信一

初心遙拝所・・・山崎 重寿

岡本 達男 石建東洋子

◎五〇体以上

清水教会・・・川村 博元

久原 友幸 田邊 和幸

齋藤 元紀

【広島県】

◎七五〇体以上

安芸教会・・・川西 久美

赤坂教会・・・木村 稔

◎六〇〇体以上

神田山教会・・・三吉 真司

蔵王教会・・・深川 健二

大打山遙拝所・・・石崎 昌司

◎四〇〇体以上

川尻東講社・・・村上 純子

◎三五〇体以上

広島西教会・・・初谷 忠彦

◎三〇〇体以上

備後南教会・・・田頭 規生

◎二〇〇体以上

上下教会・・・有田 守男

酒井久美子

◎一五〇体以上

神畑遙拝所・・・松本 光子

海田遙拝所・・・横林 誠

金丸組講・・・藤村 美友

石井 正人 須崎イチ子

辻崎キク子

◎一〇〇体以上

山南嘉和教会・・・岡本 嘉孝

神心講千年遙拝所・村上博章

神ノ峰遙拝所・・・濱田 栄子

◎五〇体以上

北村 卓史 首藤 鈴子

岡崎 佑仍 小平 忍

杉原 則秀 中西 鶴雄

西原 敏治 秦 知也

内海 弘行 門田 耕治

越智 光一 辰原スズエ

後藤 夕子

【岡山県】

◎一五〇体以上

鴨方遙拝所・・・花野 一雄

春山遙拝所・・・下山 隆義

◎一〇〇体以上

金光遙拝所・・・久本 恵弘

倉敷中央遙拝所・平松 史朗

◎五〇体以上

中臣 齋 奥野千穂子

【山口県】

◎一、五〇〇体以上

鐘ヶ淵教会・・・山田 春治

◎七五〇体以上

防府教会・・・山中 将史

◎五五〇体以上

萩教会・・・安藤 郁美

◎三〇〇体以上

橋本 賢治

◎二〇〇体以上

大島教会・・・中原 輝昌

宮木チエ子 原田 浩一

◎一〇〇体以上

亀石三千代

藤本 蝶子

◎五〇体以上

嶋村美佐子

【島根県】

◎五〇体以上

村上 道春 岡田 積

【和歌山県】

◎五〇体以上

佐藤 榮勇

【大阪府】

◎九〇〇体以上

大阪教会・・・湊 喜美子

◎二〇〇体以上

瑞明遙拝所・・・西川 薫

◎一〇〇体以上

福本 初恵

◎五〇体以上

大阪西教会・・・室田 博子

細田 欽也



【福岡県】

◎一、二〇〇体以上

田川教会・・・榎並 好美

◎八五〇体以上

大分石鎚教会

勝山遙拝所・白石 順子

◎七〇〇体以上

福岡神和教会・佐伯 良子

◎四五〇体以上

敬祥教会・勝本 房利

◎二五〇体以上

真宝教会・濱本 文雄

香春教会・川津 守秀

◎二〇〇体以上

穂波教会・越智 節子

◎一〇〇体以上

日高喜美子

◎五〇体以上

村上 一雄 村上 裕子



【大分県】

◎七〇〇体以上

霊威教会・中西 幸男

◎二、〇〇〇体以上

大分石鎚教会・江藤 秀人

◎六〇〇体以上

津久見市

宮山遙拝所・田中 國明

◎五〇〇体以上

金子遙拝所・金子 良美

◎四五〇体以上

田村 光章

◎三〇〇体以上

大分市教会・長澤 講三

大分千歳遙拝所・阿南 廣美

戸次遙拝所・足立 信昭

姫野 昌訓

◎二五〇体以上

大分吉野遙拝所・楠野 耕市

帯刀 康男 軸丸 貞子

◎二〇〇体以上

佐々木美代子 木浦 由香

◎一五〇体以上

廣瀬 雅則 高治 角二

高橋 忠吉

◎一〇〇体以上

別府神仰会

遙拝所・浦松 大八

徳浦遙拝所・木村 好一

白杵崇敬会・渡邊 一也

◎五〇体以上

田野石鎚会・森尾 眞二

二宮 孝一 清松 豪

三宮 京子 松田 友子

【熊本県】

◎一〇〇体以上

肥国合神遙拝所・日高 智美

【愛知県】

◎三〇〇体以上

愛知遙拝所・澁谷恵美子

【群馬県】

◎四〇〇体以上

関東石鎚教会・富田 直幹

【神奈川県】

◎五〇体以上

横浜講社・大竹 文子

【東京都】

◎二〇〇体以上

江藤 隆信

【北海道】

◎五〇体以上

敬神教会・山本 時雄



二月三日

節分・星祭祈願納め祭斎行

去る二月三日、節分祭が斎行されました。

感染対策を行う中での御祭儀で、神賑いは止むなく休止しましたが、平素よりお世話になっております関係各社から福豆景品の御協賛の申し出がありました。この紙面に御協賛の申し出をいただき、した各社の御芳名を掲載させていただき、厚く御礼を申し上げますと共に、益々のご発展をお祈り致します。



△御協賛各社御芳名▽

(順不同敬称略)

○白石旅館(石鎚神社中宮成就社 境内)

Tel 〇八九七―五九一―〇三二

○日の出屋旅館(石鎚神社中宮成就社 境内)

Tel 〇八九七―五九一―〇四三

○京屋旅館(温泉旅館)

愛媛県西条市西ノ川・黒瀬

Tel 〇八九七―五九一―〇三三

○歓喜庵(温泉旅館 京屋旅館別館)

愛媛県西条市黒瀬

Tel 〇八九七―五九一―〇五二

○石鎚登山ロープウェイ(株)

愛媛県西条市西ノ川

Tel 〇八九七―五九一―〇三三

○(有)竹重(装束・祭具等)

京都府京都市下京区西洞院花屋町上ル

Tel 〇七五―三七一―〇三九四

○水戸奉製(御守・授与品)

茨城県水戸市中丸町四八六一五

Tel 〇二九―二五二―七五六三

○(株)垣内奉神堂(授与品)

奈良県奈良市窪之庄町六二九

Tel 〇七四二―五〇―一一二九

○東和奉産(株)(社寺調度品)

京都府京都市南区吉祥院観音堂町七

Tel 〇七五―六九一―一三〇〇

○(株)神戸数珠店(各種数珠・玉類製造卸商)

京都府京都市下京区正面通烏丸東入

Tel 〇七五―三七一―三九二九

○石鎚酒造(株)(御神酒)

愛媛県西条市氷見内四〇二―三

Tel 〇八九七―五七―八〇〇〇

○成龍酒造(株)(御神酒)

愛媛県西条市周布一三〇―一

Tel 〇八九八―六八―八五六六

○(株)阿部(木札・絵馬・御守製造販売)

栃木県栃木市藤岡五〇二三―一

Tel 〇二八二―六二―一〇一〇

○セキ(株)(印刷・製本・情報加工)

愛媛県松山市湊町七丁目七番地一

Tel 〇八九―九四五―〇一一二

○愛媛マンドリンパイレーツ

愛媛県松山市東石井六丁目十二―三六

TEL〇八九―九一四―八一〇二

○一色石材工業所(肖像・鳥居・墓石各種彫刻)

愛媛県西条市周布

TEL〇八九八―六八―七一九九

○(有)越智電工(電気工事)

愛媛県西条市吉田五六三

TEL〇八九八―六八―七八八四

○伊藤寿司(寿司料理・仕出し)

愛媛県西条市氷見丙五〇八

TEL〇八九七―五七―七六二八

○新光ビニール(ビニール製品加工)

愛媛県松山市来住町一四〇四―三

TEL〇八九―九七五―七六六六

○岡本産業(タオル・バスマット製造)

愛媛県今治市朝倉南甲九二―一

TEL〇八九八―五六―二二六二

○石鎚タクシー(株)ついたち営業所

愛媛県西条市朔日市八九三―一六

TEL〇八九七―五六―〇八〇九

○(株)国際旅行(旅行・観光)

西条営業所

愛媛県西条市榎木四六―一

TEL〇八九七―五五―一四九七

○(有)おち観光(観光土産品卸)

愛媛県西条市大浜六三一―五

TEL〇八九七―五五―二八八六

○(有)藤本石油

愛媛県西条市氷見乙七〇五―一

TEL〇八九七―五七―九八〇四

○平原染工場(幟・幕・はっぴ等)

愛媛県今治市北日吉町一丁目

TEL〇八九八―二二―二三三三

○伊予桜井漆器会館(えひめの伝統工芸)

愛媛県今治市長沢甲三四〇―一

TEL〇八九八―四八―〇四一八

○首藤印刷所

愛媛県西条市大町一五一七

TEL〇八九七―五五―三一八九

○(有)プリ・キュウ・プレス(デザイン・印刷)

愛媛県西条市大町六一〇―一

TEL〇八九七―五三―六九五五

○(有)野口印刷所

愛媛県西条市丹原町丹原一八五

TEL〇八九八―六八―七〇五三

○(株)星加のゆべし

愛媛県西条市西田甲五三八―二

TEL〇八九七―五五―八四七四

○北四国商事(株) 東予営業所

(OA情報機器・オフィス家具・文具・事務用品・家電)

愛媛県西条市大町三一三―一

TEL〇八九七―五三―八四一一

○(株)榊田屋商店(金物等卸小売り)

愛媛県西条市壬生川本河原

TEL〇八九八―六四―三二四五

○電気空間(トータルホームサービス)

愛媛県新居浜市松神子一―七―二〇

TEL〇八九七―四六―四三八〇

○(有)タサキミート(精肉販売)

熊本県熊本市田崎町四三〇―一〇

TEL〇九六―三四―八五〇四

○丹原建設(株) 安藤直康

愛媛県西条市丹原町今井二二五―一

TEL〇八九八―六八―七四八五

○(有)金子建設 金子哲男

愛媛県西条市丹原町寺尾甲四六九

TEL〇八九八―七三―二三九五

○(有)真鍋組 真鍋知志

愛媛県西条市氷見乙七八四

TEL〇八九七―五七―八六〇〇



○(株)銅元(飾り金物製作)

愛媛県西条市神拝乙二一七一

TEL〇八九七―五三一―二七二

○大分石鎚教会 江藤 秀人

大分県大分市下郡南

TEL〇九七―五六八―八一五九

○(株)曾我工務店 曾我 政夫

愛媛県西条市樽木一六三―二

TEL〇八九七―五七―八二四七

建国記念の日

奉祝東予地区 記念式典

於..伊曾乃神社

皇紀二六八二年・二月十一日、建国記念の日奉祝東予地区記念式典(実行委員長・稲見勇喜夫)が伊曾乃神社で開催されました。

一月時点では、式典・記念講演を計画していましたが、コロナ禍の拡大により、昨年と同様、記念式典のみ各地区の役員が参加する形式をとり、東予地区は伊曾乃神社の紀元祭に参列し、祭典後に記念式典を執り行いました。

当日は素晴らしい天気恵まれる中、午前九時から檀原神宮・皇居の遥拝を執り行い、ご本殿にて祭儀。祭典後、ご本殿前に移動し記念式典となりました。

式典では国家並びに紀元節の歌の斉唱。稲見実行委員長の挨拶。明比昭治愛媛県議会議員の聖寿万歳にて締めくくりました。

式典終了後にはご参列頂き



※集合写真時のみマスクを外しております。

記・権宮司 十亀 博行

ました皆様と記念撮影。お祝いの「紅白饅頭」の振るまいと婦人会による「小豆粥」のお接待も行われました。

日本国の誕生日であります「建国記念の日」。皆様は国旗を掲げられましたでしょうか？日本人として祝祭日には国旗を掲げ、その日の成り立ちを各ご家庭でもお話願えればと思います。

割引券 コピー可

※この紙面が割引券です。

宇和島運輸フェリー

石鎚神社参拝割引券

※年間を通しての割引となります！

割引率 一割引

割引等級 全等級

割引対象 乗用車・バス・旅客

割引航路

八幡浜↔別府 一日六便
八幡浜↔白杵 一日七便

割引期間

令和四年 四月 一日から
令和五年 三月三十一日まで

除外期間

四月二十七日 ~ 五月十日
八月十日 ~ 八月十八日
十二月二十七日 ~ 一月五日

割引条件

乗船券発売窓口の本券を提出し、現金にてお支払いください。

予約先

八幡浜
〇八九四―二二―二二〇〇
別府
〇九七七―二二―二三六四
白杵
〇九七二―六三―五一八

中予崇敬組合 堀江遙拝所 創立七十周年奉祝大祭 斎行

高野 武士 遙拝所長



令和三年十一月二十八日午前十時半より堀江町民会館にて堀江遙拝所創立七十周年奉祝大祭が斎行されました。

数日前から冷え込みが厳しくなってきたておりましたが、雲一つ無い晴天、寒さ忘れる程の陽光を頂く中での御祭儀でした。本社より十亀権宮司、勝本権禰宜、小西巫女が出向いたしました。

堀江遙拝所は約二百二十年より堀江の地にて信仰の灯が点り、講社としてその形をなしてからは真福寺の境内に御堂を建て、その中に御神像を奉斎

しており、御祭儀の折には場所を移して神事を斎行するのを昔からの慣習としています。



前遙拝所長である乙井佐一夫人命は、受け継いできました信仰の灯をより発展させたいと思

い篤く日々懸命に御奉仕され、七十周年の御祭儀を盛大に、厳肅に斎行しようとされていきました。志半ばにご帰天なされ、コロナ禍の影響もあり人の集いが制限される状況となり大祭の斎行も危惧されていきました。

しかしながら、その志を受け継がれました高野遙拝所長をはじめ役員の皆様、斎主を務められました千早遙拝所の麦田遙拝所長、副斎主を務められました中予崇敬組合の山本組合長、遙拝所役員の方々、三密回避の為に志を共にする信徒を代表し参列された方々、皆が心を一つにして七十年の節目の御祭儀が厳肅に執り行われました。



祝詞奏上にて七十周年を迎えた慶びと関係の皆様方への感謝と今後の遙拝所の弥栄を祈念され、併せて前所長の御霊慰めの祭詞を奏上され、高野遙拝所長も祭典後のご挨拶にて、今後の遙拝所運営と発展への決意を述べられていました。

コロナ禍の影響で直会はず、参列者も限定しての縮小した形にはなりましたが、皆の心が一つになって実現した御祭儀であったと思います。納めに堀江遙拝所の発展と、遙拝所役員を始め信徒の皆様のご健勝とご多幸を祈念しつつ報告とさせていただきます。

【感謝状】

高野 武士
松田 和彦
乙井 正男
向田 将央
山本喜代子
乙井 祥子

記

権禰宜 勝本

(敬称略)

お初穂奉納者

五万円以上ご奉納いただきました皆様

令和三年十二月一日～
令和四年二月十日まで

《本社》

◎壹百万円以上

不動教会

◎五拾万円以上

金子 真弓・朋子
栗木 征也

◎壹拾万円以上

新居田 初男

◎八万円以上

佐川教会

◎五万円以上

穂波教会
金子 遙拝所
佐伯 良子
川西 久美
旬昭栄金属工業
旬竹 重
河村 英樹
浦松 傳

令和四年二月 三日
節分祭・星まつり祈願納め祭

《本社》

◎貳拾万円以上

福岡神和教会
佐伯 良子

◎五万円以上

愛知遙拝所
澁谷 恵美子

(順不同・敬称略)

また、本社での五千元以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権禰宜 大岡

御奉納

二月三日の

石鎚本教節分祭

星まつり祈願納め祭りにて『大幟旗』を新たに境内に御奉納いただきました。

令和三年十二月吉日

広島県呉市警固屋

平岡 和夫
平岡 正和

令和四年一月吉日

新居浜市港町

伊野 倭仁・勇志
西条市福武

藤原 正純(計二本)

御奉納誠にありがとうございます。
(敬称略)

お詫びと訂正

前号一、二月号の社報に掲載しておりました記事の中で、奉納者のお名前に誤りがございましたので関係各位に深くお詫び申し上げ訂正させていただきます。

編集部

十三ページ

石鎚神社中津原遙拝所

新穀奉納者御芳名一覧内

(誤) (正)

西嶋 稔 ↓ 西嶋 進
池本 庸年 ↓ 池本 康年
(敬称略)

十九ページ

石鎚本教大阪教会

石灯籠奉納者御芳名内

(誤) (正)

山口 珠緒 ↓ 山口 玉緒
(敬称略)



石鎚神社成就社 役行者尊例大祭・お火焚き祈願祭

令和4年4月30日(土) 11時から
皆様お誘い合わせの上どうぞご参集ください



お火焚き祈願祭「祈願木」は、本社・成就社にて頒布。初穂料1体300円
例大祭へのご参列の方には当日のみの特別な御守を贈呈致します
感染症の推移により、祭典参列をご遠慮頂く場合がございます。

石鎚神社 中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝 改修工事 ご奉賛のお願い

土小屋遙拝殿は、長年の風雨雪により、御屋根銅板と社殿本部の痛みが進み、二十年來の雨漏りも一段と激しくなり、重ねてきた補修も、もはや限界となりました。

本年も四月一日より厳しい気象条件の中での工事を再開します。どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご奉賛のお問い合わせは、崇敬組合・教会・遙拝所・講社の方々は所属の長の方へ。所属のない方は、本社へ直接お声がけください。

奉祝奉賛会 役員一同

土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年の歴史

- ・昭和四十五年 石鎚スカイライン開通
- ・昭和四十六年 土小屋遙拝殿へ御神像遷座
- 同 土小屋遙拝殿建立奉告祭斎行
- ・昭和六十二年 土小屋遙拝殿 改築工事奉賛会発足
- ・平成元年 土小屋遙拝殿建立奉告祭斎行
- ・令和三年 土小屋遙拝殿御鎮座五十周年

銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年來の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。このままでは御社殿自体の損傷が進むと考えられます。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしい、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これらの維持管理の為、外回廊の防水工事、石畳の一部改修また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。



ご奉賛頂きました皆様へは、下記の対応をさせていただきます。

奉 賛 金 額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲 額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

- ◎ご芳名 全てのご奉賛者のご芳名を、土小屋遙拝殿に永久保存
◎銅板記名 銅板へお名前を記名
※銅板記名対応は、御屋根葺き替え完成直前までとさせていただきます。
※下記は、工事完成後に対応させていただきます
◎御神札 本奉賛会にて特別に奉製された御神札
◎記念品 本奉賛会、記念品
◎感謝状 本奉賛会、感謝状
◎掲額 土小屋遙拝殿内に、ご芳名を掲額
◎ご案内 奉祝大祭にご案内
◎銅板奉納 ※1口・2,000円～。
・本社、土小屋遙拝殿社頭にて
・お名前の記入は1名とさせていただきます。
・受付は、お世話人様を通じて。

改修工事 予算	
御屋根 銅板の葺き替え	五二、〇〇〇、〇〇〇円
外部壁 木材の張り替え・防水対策	一八、〇〇〇、〇〇〇円
周辺整備	五、〇〇〇、〇〇〇円
奉祝大祭・奉祝式典・芳名掲額・予備費	一〇、〇〇〇、〇〇〇円
予算 総合計	八五、〇〇〇、〇〇〇円

真心からのご奉賛を、誠に有難く、深く御礼を申し上げます。
今後も、ご奉賛活動に深いご理解とご協力をくださいます様、
心からお願い申し上げます。
宮司 敬白

NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

— 石鎚山系連携事業協議会
令和3年度第1回環境安全
対策・登山分科会 —

【日時】

令和3年11月26日(金)
9時30分～10時30分

【場所】

西条市役所5階

【参加者】

いの町、西条市、久万高原町、
大川村、西条市観光物産協会、
いの町観光協会、愛媛大学、
(株)石鎚観光白石ロッジ、
NPO 法人石鎚森の学校等担当氏
計20名

【分科会事務局】

いの町産業建設課

【事務局参加】

曾我部英司事務局長
岩本昌美事務局スタッフ

標記会合もリアルでは2年
半振りの開催となりました。
本会メンバーは、愛媛県と高

知県の西条市、久万高原町、
いの町、大川村の1市2町1
村と大学や観光関係、また民
間の石鎚山系での活動団体
更にサイクリング関係団体等
で組織され、今回は標記の分
科会が開かれた次第です。



議場では、令和3年度の事
業報告と4年度の事業予定が
審議され、それぞれに可決承
認されました。また、安全対
策の一環として山系への道標
設置も進められています。

祈りを形にした
創作神話の舞台
『あ(明)ける。』

石鎚神社会館にて初演

【日時】

令和3年12月

24日9時～21時 リハール
25日9時～20時 ゲネプロ等
26日9時～最終リハール
13時30分開場、14時開演

【場所】

石鎚神社会館／西条市西田

【演者、スタッフ等】

久寿奏恵／バレリーナ(アマ
テラス役・振付)、阿部一成
／篠笛・和太鼓演奏(鏡職人
役・脚本・音楽)、曾我部英
司／神職(語り部、大いなる
存在役・祝詞)、梶原徹也／
ドラム、土居淳／キーボード、
前田剛史／太鼓・篠笛、今泉
志奈子／翻訳家・言語学者(劇
場案内人・司会者)、鳥山美
春／演出・衣装デザイン制作・
原案、阿部龍太／構成、林広
／藍染め工房ルアフ代表(藍
染め)、塚本洋子／
natural garden makahou (香

り)、星加治美／工房ぽっぽ
じいじ(面制作)、／小関由香
beautysalon ティアラ(髪結・
着付)、阿部千恵美／ビュー
ティーサロンウオームハンズ
(美粧)、小久保葉子／写真家
(グラフィックデザイン)、
平田祐子／画家(生地原画)、
岩本昌美／NPO 法人石鎚森
の学校(舞台補助)、好井和
樹／(有)ステージクリエイト
(照明・舞台)、伊藤俊一／新
居浜ジャンドール(音響)、
神野匡崇／(株)CACTUS(映像・
配信)、松浦豪／ハイクラッチ
(撮影)、まえふみ／
(株)MindUp(制作協力)、石鎚
神社・NPO 法人石鎚森の学
校／協力、篠笛スタジオ／企
画・制作

【鑑賞者数】 会館3階の特設
ステージは満席、合わせて
ネット配信をご覧の多くの皆
様(双方有料)

一昨年の5月、石鎚神社中
宮成就社にご奉納予定のこの
創作神話の舞台。コロナ禍の
ため、それが成らず急遽ズー

冒頭の日程で先ずは、関係スタッフ一同の正式参拝から始め、沢山のお客様の前にした初演を無事納めることが出来ました。演者、奏者、舞台スタッフが心を合わせそれぞれ



☆ 関係者正式参拝
ムでそれぞれの出演者がリハーサルを重ね、後日YouTubeで配信。好評を博し、屋外でトレーラービデオを作成。令和2年12月6日、無観客として愛媛県伊予市のミューゼ灘屋を舞台に本編を収録。合わせてYouTubeで国内外に同時配信しました。あれから丁度一年。

れの技を尽くし、世界中の子どもたちと、かつて子どもだった人たちへ不安、恐れに向こうに明けていく光のなかで私たちが生まれて初めて舞い、歌い、語り始めた頃のはじまりの物語となつて「神さまは大きなかみさま。人間は小さなかみさま」。人と祈りと大いなる存在の融合・共創の舞台『あ(明)ける。』が、展開されました。

@photograph Hi-Clutch!

☆ 阿部二成氏(篠笛)
梶原 徹也氏(ドラム)



感動の舞台終演後、演者のアフタートークもあり、例によって?曾我部事務局長も笑

いを取りながら出演の経緯や初舞台の感想を披露。本日のご来場者、ネット配信鑑賞の皆様への謝意はもちろん、一神職としてそれぞれの世界での舞台プロの中の貴重な体験のご縁に心を熱くしてその思いを語っていました。

☆久寿奏恵氏(バレエ)



☆曾我部事務局長(語り)



☆演者一同感謝を込めて



文責 事務局長 曾我部英司

山のタヌキの独り言(四十八) ― 気付く? 気付かない? ―

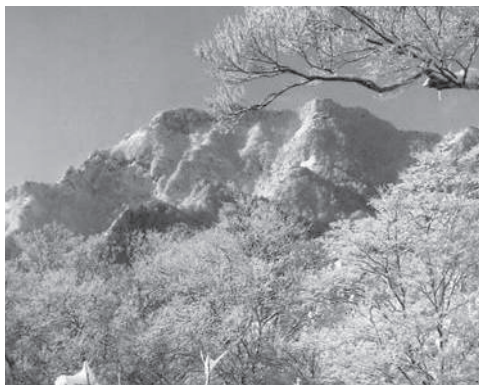
令和も早いもので四年を迎えた。石鎚山の七合目、ここ

成就の年明けも寒かったのう。氷点下七度、八度の日が続き、神社の温水の水道管が凍り付いて人間様はお湯をかけたりドライヤーで温めたりと大変そうじゃった。まあ、とことん気温も下がると氷点下十六度まで下がりよる。もつとも外部が氷点下七度以下になると暖房の無い部屋の中は何でも凍り始めよる。要注意じゃ濡れたタオルは掛けたなりに凍り、ミカンも冷凍ミカンになり、白菜なんぞの葉はパリッと凍りよる。

近年、降雪量は確実に減り一月に一メートルどころか五十センチを超えて降ることが無い。じゃが、寒さは数十年前と変わらん気がするのう。

タヌキのわしも寒い日は、巢穴にこもりっきりのこともあるが、今日の様な冬晴れの日は、こうして見返殿脇のお

山絶景スポットまで散歩と洒落込む・・・どうじゃ? 凜とした空気の中、霧氷の咲いたお山が陽に輝いて清々しく麗しかろう?!



これも寒い冬じゃからこそ拝める光景じゃ。ん? ここ成就地区では霧氷はよく観られるが、厳密にいうと「霧氷」はその総称で、「樹氷」、「雨氷」、「樹霜」、「粗氷」なんぞに分けられ、見た目も違うし出来方も違う。ま、わしも若い頃は自然云々なんぞに興味は無かったが、いつの頃からか、お山の木々や花々、そして春夏秋冬の季節の移ろいに心を惹かれるようになった。そう

言えば、とある人間様がかつてこんなことをいうとった。

「若い間は、自分から出すエネルギーが強いので、外から入るエネルギーに気付かないことがある。でも齢を重ねると出すエネルギーより入ってくるエネルギーに感じ入るようになる。草木花の放つエネルギーもそのひとつ。」タヌキのわしじゃが同感じゃわい。確か「霧氷」は過冷却された霧粒が風で木などに吹き付けられ、その刺激で氷となつて付いたもので、風上に向かって延びていき透明感があつて固くなりよる。ここでよく観るのはこれじゃな。

〈霧氷〉



これを下から見上げて青空に映えたらなんとも言えん綺麗じゃ。寒さなんでも忘れて思わず見惚れてしまう。

〈樹氷〉



これは「樹氷」じゃが、全体に白く見えて空気を多く含んでいるので脆く、樹木が完全に覆われてしまうこともある。有名な山形県、蔵王のスノーモンスターに比べると可愛いものじゃが、先出の霧氷とは見た目も全く違う。

さてと、次は「雨氷」じゃ。この言葉自体初めて耳にする人間様もおろうのう。これは、氷点下になつても凍っていない過冷却状態の雨が、地面の物や木々に付いてそれらが氷

でコーティングされた状態になり、木に付いた雨も凍ってツララ状に成長しておるのが分かる。成就地域でもなかなかお目にかかれん光景じゃ。

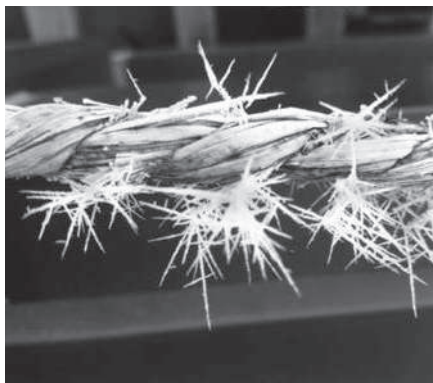
〈雨水〉



では、もう一つ。これまたあまり聞き覚えの無い単語じゃが、「樹霜」を紹介する

かのう。これは、水蒸気が気温の低下で昇華して、地面より高い所の木々や物にできる霜のことらしいが、ご覧の通り四方八方に成長して方向性はない。ホント、自然の造形はスゴイのう。役者が二枚も三枚もわしらより上じゃわい。

〈樹霜〉



これらの他にも「粗氷」という現象もあるが、見た目は

「雨水」に近く、木々や物を氷でコーティングした状況になる。雨水は雨が凍り付きよるが粗氷は霧粒が凍り付くのでツララ氷？は生まれん。ん？氷といえば「氷柱・ツララ」もあるのう。これは下界でも観ることができるのでご存じじゃろうが、成就社境内のとある場所にできたツララをお目にかけてよう。

〈氷柱〉



どうよ！？長いのは屋根から地面まで繋がるとるが、優に二メートルは超えておる。滝なら分かるが、屋根にできたツララが成長して折れもしないで地面に着くにはどれだけの条件が必要なんじゃろう

の・・・。
お山も冬になると、ちよくちよく白と黒のモノトーンの世界になりよるが、よく観ると「白」の世界にもいるいろな白が在ることが分かる。気付くか、気付かないかだけのことじゃな。気付くと途端にそこからその世界は広がって行きよる。面白いものじゃわい。

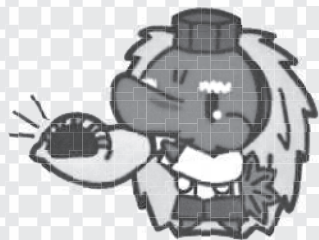
冬、お山は表面的には静かに見えても、本格的な緑息吹く春の到来を目指してその準備を進めておる。

石鎚山開山一千三百数十年、年々に暑い、寒いもあり、開山一年前の道後温泉のお湯の湧出も止まってしまった白鳳の大地震(六八四)、その他台風や大雪なんぞの自然災害も悠久の歴史のなかでは希にはあった。じゃが・・・、お蔭様で春の来ない冬は無かった。可憐なアケボノツツジの淡いピンクの花が咲く時も、もうそこまで来ておる訳じゃ。

文責 祢宜 曾我部英司

正月奉仕
特集号

石 虫 の 声



正月奉仕のご報告

編集前記

令和三年十二月二十九日から令和四年一月四日の六泊七日の日程で正月奉仕が行われました。

今回の正月奉仕は新型コロナウイルス感染症の拡大が抑まりつつあったこともあり、参拝者が多く来られ忙しかったですが、新青年部のメンバーも多く集まり、奉仕学生の巫女さんを含め、みんなで乗り越えることができました。

つぐむ



ご 挨拶

青年部 寺川 卓

初春の光さやけく、皆様には一層ご活躍のことと拝察いたします。

今年の正月奉仕は、ウィズコロナの風潮の中の奉仕となりました。

青年部としては新青年部の入会もあり、新たな体制での活動なり、青年部一団初心に帰り活動・奉仕することが出来ました。

また、アルバイト学年の方々におかれましては、貴重な時間を割いてのご奉仕、感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年も無事奉仕が終えられたことは、神社職員の皆様・関係各所の皆様、参加青年部の方々のおかげです。ありがとうございました。一日でも早く通常の生活にもどれますよう心からお祈り申し上げます、会長のご挨拶とさせていただきます。



縁起物



参集殿



授与所





青年部総会報告

令和三年午前十時に第四十九回石鎚神社、石鎚本教、青年部総会を開催しました。

今年の総会では、神社より武智宮司先生、曾我部(洋)先生に出席していただき青年部の活動報告や決算報告、予算案、今年度の活動計画、今後の方針について話し合いをしました。

青年部の活動報告については昨年は春季大祭の参拝や石鎚青少年錬成会、夏山登拝は中止となりましたが、三月にリモート会議を行いました。

リモート会議では、石鎚青少年錬成会の参加人数の減少に伴う、宣伝の方法について考えました。そして、今までの石鎚青少年錬成会での写真をスライドショー形式にした動画に作成を行いました。また、青年部の宣伝の動画作成も今後行う予定です。

今後の活動計画としては、八月中旬に石鎚青少年錬成会の開催、それに伴う準備、パンフレットの発送を予定しています。

眞依

新青年部挨拶

日野 太陽
今年青年部に入りました日野太陽です。

今年初めての活動で慣れないことが多く失敗が多いです。先輩方にいろいろな事を教えていただいているので早く覚えられよう頑張ります。青年部の人達は親切で優しい人ばかりでとても助けられています。青年部の活動もやることがないことばかりでとても楽しみな反面少し不安でもあります。

まだまだ新人で出来ない事ばかりで迷惑ばかりかけている僕ですがいずれば人を助けられるぐらいに成長できるよう頑張ります。



古賀 照子
この度、青年部に入りました古賀照子です。

初めての正月奉仕で、緊張していましたが、青年部の皆さんに助けていただき無事に終えることができました。私は、幼い頃から石鎚に携わってきましたが、至らない点はまだまだあると痛感しました。今の私に出来ることは限られていると思いますが、これからの活動を通じて精進していきたいです。

また、正月奉仕だけでなく、錬成会でも一人前の青年部として活動できるように頑張っていきたいです。よろしくお願い致します。





十亀 和真

私は今年から青年部に入ることになった高校一年生の十亀和真です。私は今まで石鎚青少年錬成会に何回か参加したことがあり、青年部の存在は知ってはいましたが、入ろうと考えたことはありませんでした。ですが、高校生になって正月奉仕をした時に青年部って楽しそうだなと思ったので正月奉仕中に入ることを決めました。正月奉仕は初めてで、とても緊張したし大変だったけど、同時に楽しいと感じました。これからこんな体験ができると思うと楽しみです。大変なこともあると思うし、迷惑をかけると思いますが一生懸命頑張るので宜しくお願い致します。



石川 晴基

僕は今年から青年部に入った石川晴基です。僕は何回か石鎚青少年錬成会に参加したことがあり、去年は新型コロナウイルスの影響で、青年部に入る前から正月奉仕に参加しましたが、今年正式に加わりました。今回の正月奉仕は、前回より人が多く大変でしたが二年目なので、去年より間違いが減ったのでよかったです。

次回の錬成会では初めて指導する側に回るので不安であると同時にとても楽しみです。分からないことだらけで、間違えることもあると思いますが、よろしくお願いします。



会長
副会長
幹事
会計
監査
新青年部

寺川 孝卓
心石 真依
古賀 眞子
古賀 眞子
和賀 眞子
宇佐 眞子
石川 晴基
石川 晴基
村野 晴基
日野 晴基
石川 晴基
古賀 眞子
十亀 和真

青年部会員

編集後記

今年青年部に新たに四人新青年部員が加わり去年よりもスムーズに正月奉仕の準備、また奉仕をすることができました。

今年は数年に一度の大寒波が訪れとても寒い中の作業でしたが、みんなで協力して寒さを乗り越えました。去年は時間が押すことが多かったのですが今年の目標は「段取りよく行動する。」で青年部一同一年過ごしたいです。

また会長も残り数年で引退となり、会長がいなくてもしっかりとやっていける様に新青年部員含め全員で成長する一年にしたいです。

詩起



石鎚青年部会報
(発行所) 愛媛県西条市
西田甲七九七
石鎚青年部事務局
(発行代表者) 武智 正人
(編集責任者) 寺川 卓
(編集) 寺川 卓
(印刷所) 寺川 卓
(印刷) キュウ・プレス



霊峰石鎚山 奥宮頂上社 開門祭の ご案内

令和四年

五月一日(日)

午前十一時より

(時間に多少前後があります)

霊峰石鎚山・令和四年の開山を告げる「開門祭」を斎行致します。
皆様の健康と安全を最大限に確保しつつ御祭儀を厳修させて頂きます。ご登拝・ご参拝の折には、ご自宅での検温・三密回避・マスク着用にご留意頂きますようお願い致します。



石鎚神社HP

石鎚登山ロープウェイ
運休のお知らせ

令和四年

四月十一日(月)～

四月十九日(火)

(九日間)

右記日程にて定期点検の為、運休します。成就ルートより登拝される皆様はご留意ください。※詳細は石鎚登山ロープウェイのホームページをご覧ください。

権宮司 十亀

石 鎚 社 報

〒七九三-八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五-四〇四四 本社

五五-七二四二 FAX

五五-四一六八 会館

五五-七二八一 FAX

五九-〇一〇六 成就

五九-〇四〇八 FAX

五三-〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六〇-〇一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】高岡 健

【印刷所】プリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索